

2019年度町田市教育委員会

第9回定例会会議録

1、開催日 2019年12月20日

2、開催場所 第三、四、五会議室

3、出席者 教 育 長 坂 本 修 一
委 員 後 藤 良 秀
委 員 森 山 賢 一
委 員 八 並 清 子
委 員 坂 上 圭 子

4、署名者 教育長

委 員

5、出席事務局職員 学校教育部長 北 澤 英 明
生涯学習部長 中 村 哲 也
教育総務課長 田 中 隆 志
教育総務課担当課長 是 安 智 彦
教育総務課担当課長 谷 勇 児
(学校運営支援担当)
施設課長 浅 沼 猛 夫
施設課学校用務担当課長 小 宮 寛 幸
施設課担当課長 平 川 浩 二
学務課長 峰 岸 学
学務課担当課長 中 溝 智 章
保健給食課長 有 田 宏 治
保健給食課担当課長 武 藤 正 道
指導室長 金 木 圭 一
(兼) 指導課長

指導課担当課長	野 田 留 美
指導課統括指導主事	宇 野 賢 悟
教育センター所長	林 啓
教育センター統括指導主事	辻 和 夫
生涯学習部次長	佐 藤 浩 子
(兼) 生涯学習総務課長	
生涯学習総務課担当課長	貴 志 高 陽
(兼) 文化財係長	
生涯学習センター長	塩 田 一 人
図書館長	近 藤 裕 一
図書館市民文学館担当課長	中 嶋 真
(町田市民文学館長)	
図書館副館長	江波戸 恵 子
図書館担当課長	竹 川 裕 之
書 記	大河内 和歌子
書 記	中 野 亮 介
書 記	瓜 田 円
速 記 士	帯 刀 道 代

(株式会社ゲンブリッジオフィス)

6、提出議案及び結果

議案第26号 学校支援ボランティアへの感謝状の被贈呈者の承認について

原 案 可 決

7、傍聴者数 3 名

8、議事の概要

午前 10 時 00 分開会

○教育長 ただいまから町田市教育委員会第9回定例会を開会いたします。

本日の署名委員は森山委員です。

日程の一部変更をお願いいたします。日程第2の議案第26号及び日程第3の報告事項(2)につきましては、非公開案件ですので、日程第3の報告事項終了後に、一旦休憩をとりまして、関係者のみお残りいただいて審議、ご報告したいと思っております。これにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、そのようにさせていただきたいと思っております。

日程第1、月間活動報告に入ります。

前回の教育委員会定例会以降の活動につきまして、まず私から報告させていただきます。

まず先月、11月27日(水)から3日間にわたって開催されました小学校連合音楽会では、市民ホールに子どもたちのすばらしい合唱や合奏が響き渡っておりました。私は議会対応で、例によってほんの一部しか拝見できませんでしたが、教育委員の皆様も絶賛しておられました。中学校の連合音楽会もそうだったんですが、心に響く演奏は、町田市の子どものレベルの高さを感じ、また、他校の児童の発表を清聴するマナーのよさにも感動いたしました。これは日ごろからの各学校の音楽科の先生や担任の先生方のご指導のたまものというふうに感謝をしております。

一方、12月7日(土)に開催する予定でございました町田市こどもマラソン大会は、あいにくの雨天と低気温の予報から、残念ながら早目に中止の連絡をさせていただきましたが、この日に向けて練習をしてきた子どもたちは大変残念だったと思っております。ぜひ次年度に向けてモチベーションを維持していただきたいと思います。

もう一つ、12月14日(土)には、来年2月2日(日)に開催される第11回中学生東京駅伝大会の結団式が行われました。選手たちの引き締まった表情を拝見し、大会に向けた決意と抱負を聞きまして、チーム町田としての団結力を発揮した活躍を大いに期待しているところでございます。

このような子どもたちの真剣に取り組む姿を学校訪問や連合行事などで拝見するたびに、1つ1つの行事の教育的意義や効果を感じております。子どもたちが満足感や充実感を感じて成長することは、保護者にとってこの上ない喜びであり、指導に当たられている先生方にとっても、醍醐味というんでしょうか、やりがいを感じていらっしゃるのだと思います。今後とも各学校の特色ある教育活動の教育的意義や効果が児童・生徒、保護者、そして地域に十分伝わるように、さまざまな機会、媒体を通じて、ぜひ説明、発信をしていただきたいと思います。

そのほかの主な活動は、お配りしております資料のとおりでございます。

私からの報告は以上でございます。

それでは次に、各委員からご報告をお願いいたします。

○後藤委員 私からは、11月から12月に実施されましたプログラミング教育の研究発表会あるいは Pepper 社会貢献成果発表会に参加したことについてご報告をします。

この研究校や Pepper を活用した学校では、コンピューターを使って非常にアクティブな学びが繰り広げられていました。先生方が一方的に教え込むというスタイルではなくて、子どもがみずから試行錯誤しながら協働的に学ぶ姿、それを先生たちが支援・助言の形で支えていきながら導いていく、そういう授業が多く展開されていて、子どもの情報活用能力の育成について非常に効果的に育まれているというふうに見られました。

ちょうど折しもOECDのPIISA2018の調査結果が示されました。読解力の平均得点の低下が問題となっているわけです。その要因として、子どもたちがコンピューター使用型調査、この調査がそういう調査に切りかわっているわけですがけれども、それに非常にふなれであるという実態、あるいはデジタル機器の学習利用時間が参加国中、最下位という実態、こういうことなどが挙げられ、ICT教育と学力の関係を明らかにするとともに課題が明示されました。

前後して、国も1人1台の学習者用コンピューターや高速・大容量の通信ネットワークの整備を進めるという発表もあり、今後、日本の子どもたちに情報活用能力を確実に育成しなければならないということが大きく示されているものだと思います。

町田市教育委員会では、情報活用能力の育成を町田市教育プランに位置づけ、教員や学習者用のChromebookの配置、プロジェクターの教室設置、そういう多々のICT環境の整備、あるいはそれをいかに使っていくかという研究開発の取り組み、また教職員の働き方改革をそれに活用していくという実現状況など、非常に積極的に学校とともに取り組んで、この1年で大きな成果を出しているなというふうに感じているところです。

このように先見性を持って施策実現を進めていく、特に関係者の職員の皆さんのご努力に本当に敬意を表します。今後もこういう築かれた実績の上に立って、子どもたちの情報活用能力を育成するために、また、これからの学びに必要な力、生きていく上で必要な力を育成するために、大変な状況の中ですがけれども、機を逸することなくICT教育を推進していただきたい。新しい学びの世界を町田から発信していただきたいと願っております。

以上です。

○森山委員 私のほうから2点ご報告をさせていただきます。

1点目は、11月15日(金)に行われました市教委訪問で南中学校へお伺いいたしました。校長先生から概要を説明していただき、校内の視察、特に授業の視察をさせていただきました。3校時、4校時目と2時間続けて授業を参観した後、学校管理職との懇談ということになりました。授業につきましては、生徒が非常に落ちついて授業にしっかりと取り組む態度が見えました。

1つ私の感じたところですが、先ほど後藤委員のお話にもありましたけれども、ICTの活用についてでございます。この南中学校は時期的にはちょっと遅かったという話も伺ったのですが、ICT活用が教員によって幅があるというような話をいただいております。町田市として、ICT活用について、教員の個人的な技量なのか、あるいはICT機器が使いづらいのか、あるいは他のICT機器もあわせて活用する必要があるのかとか、このあたりのことも学校で十分な活用がなされるように研究等も今後いろいろ進めていただければありがたいと思いました。

2点目は、11月18日(月)に行われました町田市立中学校のPTA連合会のブロック会議の北ブロックの会議に出席をさせていただきました。場所は金井中学校で行われたものでございます。日ごろからPTA活動に尽力をいただいている役員の方々でございますので、非常に関心も高く、私もそうですが、参加した方々が、学校と地域と家庭という3つの連携が非常に重要だということを強く意識した会であったと思います。特に保護者の方々と先生が協力し合って学校を運営しようというかかわりとか、その上で子どもの学習環境を整えていこうという観点から、非常に重要な議論が行われたかと思えます。

特に保護者と学校というのは、子どもの教育とか生活にかかわりながら、ややもすると、その責任をめぐって対立関係になりがちだということがよく言われるのですが、日ごろから保護者の方と学校が密に関係を保つことが非常に重要だということもつくづく感じたところでございます。そういう意味では、PTAの活動は今後ますます重要性が高まっていくのではないかという観点も意識をしております。

以上、2点ご報告いたします。

○八並委員 私からも2点、報告と感想を述べたいと思います。

森山先生からもご報告がありましたが、私も12月10日に南中学校で開催された中学校PTA連合会のブロック会議の南ブロックに参加してまいりました。テーマとして「守れるか、子どもたち」ということで、中学生に対して例えば交通安全、あるいは不審者、その

他、子ども自身が身を守る自覚を持ってもらうためにはどうすればよいかということで意見交換が行われました。

親として、学校として、どのような取り組みをしているかという中に、町田市では交通安全ということで、中学生は、3年ごとに各学校1回ずつ、スケアード・ストレイトといって、スタントマンによる交通安全の研修を行っております。卒業するまでに全員の子どもたちがその取り組みに参加するというので、目の前でこのようなことが起こり得るのだと知ることによって、子どもたちの安全意識を高めるものであります。

また、不審者対応にいたしましても、学校はこのようなことをしているのだと、学校の対応を保護者がしっかりとわかっている。それから、登下校中の不審者対応としての子どもたちへの声かけ、また、声かけだけではなくて、それにはふだんからの訓練が大切である。また、現在では不審者とのかかわりについても、SNSによるトラブルが大変多く、問題が深刻化してから学校への相談になるケースも多いと聞き、対応がなかなか難しいのが現状であるということも伺いました。

子ども自身で身を守る自覚を持ってもらうためには、こういった知識や対策を大人が伝えるということだけではなくて、大人が子どもたちにこうしてほしい、あるいはこれだけはしてはいけないというようなメッセージを発信することが大切になってきているのではないかと思います。昨今ではPTAの活動が、そのあり方とともにいろいろ議論されているところではございますが、子どもたちを取り巻く実際のリアルなコミュニティの1つとして、非常に大きな役割を果たせるものだと思っております。これらの活動の支援をすることも大事なのではないかと思います。

また、後藤先生からもお話がございましたが、11月、12月は研究発表会が行われました。研究発表会は今年度は11月1日の小山ヶ丘小学校、11月8日の堺中学校、11月20日の町田第五小学校と続いてきたわけですが、まず小山ヶ丘小学校からバトンを渡すということで、市内の研究発表会が今年は連携をしているという先生方の非常に強い意識を感じました。研究発表会を聞いて現場で生かすことが1つの大きな役割でございまして、どのように生かしていくのだろうということを大変心配していたところではあります。今年度は町田市全体でこういう研究発表に取り組んでいるぞという姿勢が見えた研究発表になっていると思います。研究発表をまだ残している学校もございまして、今年度の研究発表会で先生方のご研鑽が積まれたことを思うと、大変うれしく思います。

私からは以上です。

○坂上委員 私からは、今月の活動全体を通してのご報告と感想を述べたいと思います。

毎年11月は連合演劇会や連合音楽会など、市内の子どもたちの日ごろの成果を発表する場に出席させていただき、大変うれしく思っております。この日のためにどれだけの時間を費やして練習してきたのかと、子どもたち、また指導された先生方の練習している光景を想像するだけで、本当に胸がいっぱいになる思いです。子どもたちも本番に向けて、みんなで力を合わせる難しさや大変さをそれぞれ感じ取ったのではないかと思います。それだけに、その発表が成功したときの達成感の喜びはひとしおだったと思います。本番の発表の成功はもちろんですが、ここまでみんなで頑張った過程は、きっと子どもたちの成長に大きく影響することと思います。みんなで協力し、頑張った成功体験をしっかりと胸に刻み、これからも頑張ってもらいたいと思いました。

また、こちらは先生方の日ごろの研究の発表の場になりますが、ICTを使った授業の研究発表会を堺中学校と町田第五小学校で見てまいりました。年々ICTを取り入れた授業の進歩が見られ、子どもたちがタブレットなどを随分使いこなして授業をしている光景に大変驚きました。先生方もかなり研究されたようで、以前に比べ、大変上手に授業に取り入れていたと思います。まだまだいろいろと改善点はあるかと思いますが、引き続き研究にご尽力いただきたいと思います。

最後に、今年も、来年2月に行われる東京駅伝の結団式に出席させていただきました。毎年この結団式で、市内中学校から選ばれた選手の皆さんの輝いた目を見るのをとても楽しみにしております。これから自校の壁を越え、他校の選手と一緒に、チーム町田としてみんなが一丸となって練習されると思いますが、このような貴重な機会は、ここに選ばれなかったらなかなかできなかった経験です。ぜひ壁を越え、たくさん交流し、友達、仲間をつくってもらいたいと思いました。ここで一緒に頑張って練習した経験は、きっと子どもたちの心に残る大切な思い出になるとと思います。

寒い時期になりますので、インフルエンザの予防、体調管理などに気をつけて、当日は、練習の成果を思う存分発揮してもらいたいと思います。来年2月の本番を今から大変楽しみにしております。

昨今では、いろいろな場面で、大人も子どもも個々の動きだけで終結してしまう傾向がありますが、こうした集団の中の自分の役割や考え、また、周囲の意見などを考慮して行動する大切さは、やはり学校でなくてはできないことだと思います。同じゴール、目標に向かって、みんなが一生懸命頑張ることの大切さを、子どもたちにはたくさん経験してほ

しいと思いました。

私からは以上です。

○教育長 そのほか事務局も含めて、報告はよろしいでしょうか。

○学校教育部長 私から2019年第4回町田市議会定例会の学校教育部所管分について、ご報告させていただきます。

第4回定例会は、一般質問が12月4日から10日までの5日間、文教社会常任委員会は12月12日に開催されました。

初めに、一般質問は、学校教育部に対し、18人の議員から質問がございました。その内容についてですが、主に、表題だけになりますが、「ICTを活用した教育の進捗状況と課題は」、「小・中学校における照明のLED化について」、「子どもたちをネット（SNS）被害から守るためには」、「中学校無料試食会の実施・進展の成果について」、「教員の働き方改革について」、「自衛隊の隊員募集について」というタイトルで「高等工科大学の募集への町田市の協力について」、「聴覚障害者の情報保障について」というタイトルで「教育現場での対応は。課題は何か」、「医療的ケア児の教育現場での受け入れ態勢について」、「子ども自身が子どもの権利を認識できる取り組みは」、「陰山メソッド導入の進捗はどうか」、「町田市型コミュニティ・スクールを実施してきたが、ここでコミュニティ・スクールに切りかえた理由は何か」、「小学校の情緒障がい特別支援学級に通う子は、中学校に進学した際にはどこに通うのか」、「道路でキックスクーターやブレイブボードで遊ぶことは危険であるとさらに周知をすべきと考えるがいかがか」、「プログラミング教育について」、「効果的な教育の経済的支援について」、「防災教育について」、「危険度の高い組体操の実施について」、「小・中学校で指定されている体育授業時のTシャツの色について」、「学校からPTAへの、行事等での協力依頼の方法について」、「国際パラリンピック委員会公認教材『I'm POSSIBLE』の活用について」、ほかに再質問として、「児童虐待・不登校等、児童を取り巻く環境について」というタイトルで「関係機関との情報連携について」の質問がありました。また、『まちとも』の課題は何か、そして「政党機関紙の市の施設での配布の実態はどうなっているのか」の質問がございました。

次に、12月12日に行われました文教社会常任委員会では、2019年度補正予算と行政報告についてそれぞれ審議していただきました。

初めに、補正予算は、南つくし野小学校と鶴間小学校の中規模改修工事、町田第六小学校の校舎等改修工事、そして来年9月末までに設置を予定している25校の体育館空調設備

設置事業を計上いたしました。

行政報告は、中学校給食無料試食会の中間報告をいたしました。

なお、補正予算は、文教社会常任委員会では全会一致で採択されましたが、この後、12月23日の本会議で採択が行われます。

報告は以上となります。

○生涯学習部長 私からは、第4回市議会定例会の生涯学習部所管分の案件につきましてご報告いたします。

まず12月4日から10日にかけて行われた本会議の一般質問におきましては、2名の議員から質問がございました。

1件目は、図書館の管理運営についての質問でした。現在検討が行われている図書館協議会の議論の内容に関する事、来年4月から導入される会計年度任用職員制度に関する事、今後の管理運営体制に関する事などに対する質問でした。

2件目は、子どもに本に興味を持ってもらう方策としての読書通帳についての質問でした。町田市の図書館では、既に中垣ゆたかさんのイラストを使用した読書手帳を子どもたちに配布しておりますが、銀行の預金通帳のように自動で印字できるようなタイプを導入してはどうかという趣旨の質問でした。

これらの質問以外に、ほかの議員から関連質問として、政党機関紙に関する事、拉致問題の啓発事業に関する事がございました。

一般質問については以上でございます。

次に、12月11日の質疑及び12日の文教社会常任委員会におきましては、条例改正について質問を受けました。町田市立学校施設の開放に関する条例の一部を改正する条例で、内容といたしましては、受益者負担の適正化に関する基本方針に基づき、町田第一中学校など3つの温水プールの利用料金を引き上げるものでした。

質疑の後、採決の結果、常任委員会におきましては賛成多数で可決されました。

以上、第4回定例会の生涯学習部所管分の案件につきましてご報告させていただきました。

○教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問などありましたらお願いいたします。――よろしいですか。

それでは、以上で月間活動報告を終了いたします。

次に、日程第3、報告事項に入ります。

本日の報告事項は7件ございます。

まず、報告事項（1）について、担当者から報告させていただきます。

○保健給食課長 それでは、中学校給食の無料試食会について中間報告をさせていただきます。

町田市では現在、弁当併用外注給食方式にて給食を実施しております市立中学校19校において、2019年9月から中学校給食の無料試食会を行っているところでございます。

実施状況と参加率でございます。2ページ目でございます別紙もあわせてご覧ください。実施期間は今年の9月から来年1月までとなっております、11月末現在で15校が終了しております。中学生の参加率につきましては79.5%となっております、各学校の参加率については2ページ目をご参照ください。

不参加の生徒に理由を求めたところ、記入のあった部分だけでございますけれども、食物アレルギーのほか、好き嫌いが多いため、あるいは給食を注文する予定がないため、試食会も参加をしないなどが書いてございました。

この無料試食会についての取り組みでございますが、教育委員会といたしましては、今回添付をいたしましたカラーのチラシを配布しながら、試食会への積極的な参加を呼びかけております。また、まちだ子育てサイト、「広報まちだ」などにも掲載をいたしました。あわせて中学校PTA連合会にもこうした事業の実施についてご案内をしております。各学校におきましては、学校だよりですとか、ホームページにこの試食会の案内を掲載していただくほか、保護者会などでPRを行っていただいています。

試食をした後に、各中学校においては、アンケートを実施しております、現在まだ試食会も途中で、集計中ではございますけれども、給食についての改善要望として目立った意見が4つほどございます。給食の味つけの改善、生徒の希望を献立に取り入れるようなこと、それから分量の調整ができること、温かいものが食べられることなどが意見として見受けられました。

資料の一番最後のページですが、試食会の実施の時期と、年度当初の4月と10月の比較をしております。これが最新の喫食率となっております。10月におきましては、9月に試食会を実施した中学校のデータは反映されておりますけれども、10月に実施をした部分については、試食会の分を含めておりませんので、この数字でございます。まだ現在も実施しておりますので、最終については今後ご報告をさせていただきたいと思っております。

報告は以上でございます。

○**教育長** ただいまのご報告につきまして、何かご質問などございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。――よろしいですか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（3）について、担当者からご報告いたします。

○**指導室長（兼）指導課長** 報告事項（3）「ICT教育フォーラムの開催について」でございます。

目的でございますが、町田市のICTを活用した教育の取り組みについて、市内外に発信するとともに、理解を深めてもらう。また、町田市ICT活用教育推進モデル校の取り組み等を紹介し、市内全小・中学校でのICTを活用した教育の推進につなげることでございます。

主催は教育委員会でございます。

日時は2020年1月25日（土）10時から12時です。

会場は町田市民フォーラム3階ホールで行います。

対象は他市区町村教育委員会及び教員、市内教員など、合計200名程度を想定しております。

内容につきましては、1枚おめくりいただきまして、チラシのほうをご覧ください。2部制をとっております。

第1部は「産学官連携による町田市の教育の情報化事業の発表」ということで、今、町田市が多くの企業と連携しながら取り組んでいる内容について発信をしていきたいと考えております。また、そこにかかわってどういうふう構築してきたのかということもあわせて発表したいと考えております。

第2部では「G Suite for Education を活用した参加型のパネルディスカッション」、テーマを「ICTを活用した新時代の学びと働き方改革～Chromebook の活用を通して～」ということで、今、市内のモデル校として取り組んでいただいています小山ヶ丘小学校、町田第五小学校、堺中学校の教員、そして私、そしてここに写真があります東京学芸大学の高橋純准教授が今この研究に携わっていただいておりますが、この5名をパネラーとしてパネルディスカッションを行いたいということでございます。

また、スマートフォン、携帯電話からアクセスできるように、今回の参加申し込みについてはQRコードを読み取っていただき、そこで行っていただく。これも今、町田市教育委員会が取り組んでいる1つの取り組みですので、そういうことをこのチラシから発信

していきたいと考えております。

なお、中段に「町田市の新時代の学び」、「町田市の働き方改革」というQRコードが載っておりますが、こちらはGoogleが作りました町田市の取り組みについてのYouTubeにアクセスできるようになっておりますので、ぜひご覧をいただければと思います。

最後、お戻りいただきまして、7番の周知方法でございます。他市区町村教育委員会及び町田市立小・中学校への案内を配布いたします。また、ホームページへの掲載により周知を行います。さらに、本日の午後、各報道機関にはプレスリリースをする予定でございます。

報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして、何かございますでしょうか。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続いて、報告事項（4）について、担当者から報告させていただきます。

○指導室長（兼）指導課長 報告事項（4）『令和元年度東京都地域学校協働活動推進フォーラム in 町田市』の開催について」でございます。

この取り組みにつきましては、1番の趣旨にございますように、地域学校協働活動と学校運営協議会との一体的推進や「社会に開かれた教育課程」の実現が目指されていることから、町田市のすぐれた取り組みを都内各地域の実態に応じた事業展開の参考とするため、広く他地域の行政職員や統括コーディネーター等に向けて発信するものでございます。

この取り組みにつきましては、主催は東京都教育委員会でございます。

日時は2020年1月28日（火）13時30分から16時30分を予定しております。

会場につきましては、ホテルラポール千寿閣でございます。

対象は、町田市につきましては、町田市立学校の管理職、また教員と書いてありますが、地域連携担当教員が各学校におりますので、その教員、そしてボランティアコーディネーターであります。東京都全体としましては、各市町村立学校の管理職、教員、それから統括コーディネーター等を対象に約250名を想定しているものでございます。

内容につきましては、1枚おめくりいただきまして、東京都教育委員会がつくっておりますチラシの裏面の「プログラム」というところをご参照いただければと思います。

1時30分から始まるわけですが、その前に1時から1時半まで受付と町田市の取り組みパネル展示を行います。こちらはゆくのき学園は1校とカウントしまして、61校が模造紙

大に各学校の地域学校協働活動の取り組みを、今、作成をお願いしているところがございます。それを千寿閣のほうで会場を設けまして張り出しまして、そこを見学していただくということでございます。

13時40分からは、「取組紹介」としまして、「町田市における地域学校協働活動のこれまで、そしてこれから」ということで、こちらは指導主事のほうが発表させていただく予定でございます。

休憩の時間は、さらに取り組みパネルの展示見学をしていただいて、第2部に移ります。

第2部は、「なぜいま、コミュニティ・スクールなのか～学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進～」ということで、文部科学省の地域学校協働活動推進室長が基調提起を行う予定でございます。

その後、15時10分から、「学校の“受援力”を高め、地域の“応援力”生かすために」ということでパネルディスカッションを実施いたします。コーディネーター、パネラーについては記載のとおりでございます。

そして16時30分閉会ということでございます。

お戻りいただきまして、7番、周知方法でございますが、定例校長会での説明、そして町田市立小・中学校に案内を配布いたします。東京都教育委員会が主催となっておりますので、全区市町村に対する案内につきましては、東京都教育委員会のほうで行っているという状況でございます。

報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして、何かございますでしょうか。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（5）について、担当者から報告させていただきます。

○生涯学習センター長 報告事項（5）『第8回生涯学習センターまつり』の実施報告について」でございます。

実施日ですが、2019年10月25日（金）、26日（土）、27日（日）の3日間で行いました。日ごろ生涯学習センターで活動しているサークル、団体の皆さんの成果発表の場として、また、利用したことのない市民の方に活動をご覧いただき、利用につなげていくことを目指して開催しております。

参加団体数ですが、展示の部が21団体、発表の部が26団体、ワークショップが3団体、

合計50団体の参加がありました。

祭りを観覧に来られた来館者に参加した団体の関係者なども加えた総来館者数は2,461人です。2018年度との比較では、参加団体は3団体ふえ、来館者も53人の増加となっております。

資料の中で写真を掲載し、会場の様子をご紹介しておりますが、発表、展示の部とも、日ごろの活動の成果が遺憾なく発揮され、また、来館した方々に実際に体験していただくことと設けたコーナーにもお子様連れの家族などでにぎわい、盛況のうちに幕を閉じました。

また、この後、文学館まつりの報告もありますが、10月27日には生涯学習センター、文学館、国際版画美術館の祭りに加えて、町田時代祭りの計4つの祭りが同日開催となり、連携した取り組みのほか、回遊性、来館者の利便性が高まり、まちのにぎわいをもたらすことができました。

報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして、何かございましたらお願いいたします。――よろしいですか。

以上で質疑を終了いたします。

続いて、報告事項（6）について、担当者からご報告いたします。

○図書館市民文学館担当課長（町田市民文学館長） それでは、報告事項（6）『第13回文学館まつり』の実施報告について」でございます。

実施日時は、10月27日（日）の10時から16時でございます。

文学館まつりは、市民文学館ことばらんどを多くの方々を知っていただくとともに、地域との交流を深める機会をつくることを目的としております。地元組織と協働して開催しているものでございます。

第13回となります10月27日は、先ほど生涯学習センターの報告にもありましたとおり、町田時代祭り、ゆうゆう版画美術館まつり、生涯学習センターまつりも開催されております。回遊性を高めているような形になっております。

文学館といたしましては、昨年と同様に文学館通りを歩行者天国としておりまして、こちらを時代行列が通ったり、いろいろなイベントの会場として使わせていただきました。

なお、26日は、前日祭として、15時からマンドリンコンサートを開催しております。

今回、2019年度の来場者数は3,502人、昨年度が4,000人ございましたので、数は若干減っておりますけれども、かなり盛況でありました。

運営につきましては、先ほど申し上げたとおり、地元組織と協働で、地元組織の方が中心になって行っておりますので、原町田四丁目の町会や、文学館通りの商店会の方々と一緒にやっているところでございます。

内容については、以下のとおり、写真等で紹介させていただいております。前日祭としてはマンドリンコンサート、ちょうど左下の写真がコンサートの様子でございます。当日は、1階ではいろいろなイベントを行ったり、2階では展覧会や、映画の上映会や、薩摩琵琶の演奏を聞いたり、あと中垣ゆたかさんにも来ていただいて、ワークショップをしていただいております。3階は主にワークショップの関係を中心に行っているところでございます。

最後に文学館の外ですが、駐車場や先ほどの歩行者天国等で、野菜の販売とか、模擬店を出したり、あとはライブとか、フリーマーケットを行っているところです。

あと、先ほど申し上げた協働の中で、今回、文学館まつりとゆうゆう版画美術館まつり、町田時代祭り、それぞれスタンプラリーを行って、全ての祭りに参加した方に缶バッジを配布しております。

報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして、何かございますでしょうか。――よろしいですか。

以上で質疑を終了いたします。

続きまして、報告事項（7）について、担当者からご報告いたします。

○図書館市民文学館担当課長（町田市民文学館長） それでは、報告事項（7）「『三島由紀夫展—『肉体』という second language』の開催について」でございます。

来年1月からの冬の展覧会となります。主催は市民文学館ことばらんどでございますが、山中湖にあります三島由紀夫文学館長の佐藤秀明さんに監修をしていただいております。こちらの文学館にも協力をいただいております。

開催期間につきましては1月18日から3月22日の55日間で、無料の展覧会となっております。

開催の趣旨でございます。文学館では、2019年度秋季展覧会、今行っている白洲正子の展覧会ですが、これから来年の夏の展覧会まで、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会との関連を意識したテーマで展覧会を企画しております。

オリンピック憲章では、ここにも出ておりますが、「オリンピズムは肉体と意思と精神の

すべての資質を高め、バランスよく結合させる生き方の哲学である」とうたわれております。この考え方が、来年、2020年にちょうど没後50年になります有名な作家の三島由紀夫の人生にも通底するものであったということでございます。

三島由紀夫は、実は幼少のころはかなり虚弱体質で、そういう意味で文学のほうをやっておったのですけれども、作家となつてからも健康への不安とか、肉体のコンプレックス等に悩まされていて、30歳からボディビルを始め、肉体改造に取り組んで、肉体改造することが、言葉を学ぶように、second language というタイトルにもうたっていますけれども、肉体と向き合ったときに、新しい作風に切りかわって行って、代表作を発表して、いわゆる作家としての充実期を迎えたとされております。

本展では、「肉体」という言葉をキーワードに三島作品をひもとき、三島由紀夫の生涯に迫ることを考えております。

また、前回の1964年のオリンピックの際に、三島はスポーツ関係のマスコミの取材等をかなり行っております。そういう意味で、執筆した開会式や各競技の観戦記を紹介するコーナーも設けまして、作家の言葉から前回の東京オリンピックを回顧したいと思っております。

関連の事業については以下のとおりとなっております。

2枚目は用意させていただいたチラシです。今回はふだんのチラシと変えまして、三島のポートレートということではなくて、芸術作品としての写真を使わせていただくような形でやっております。

報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問等ございましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

予定された本日の公開での議題は以上でございますが、そのほかに委員の皆様、あるいは事務局のほうから何かございましたらお願いいたします。

○保健給食課長 資料はございませんけれども、今インフルエンザ等が流行しておりますので、学級閉鎖の状況をご報告させていただきます。

まず、今シーズンの初発が、町田市の場合は9月9日、小学校でございました。現在、学級閉鎖をしております学校の主な理由といたしましては、インフルエンザのA型が最も多い状況でございます。

現段階で43件の報告を受けておりまして、そのうち学年閉鎖というのが4件ございました。本日、12月20日時点で学級閉鎖を行っているという学校は4校ございます。全体で43件ございますけれども、そのうち中学校は4件。およその傾向で申しますと、今年は南地区からの報告がかなり多い状況でございました。

なお、昨シーズンと比較いたしますと、昨シーズンの初発が12月に1件でございまして、1月に98件ということになっております。今年は、9月からこれまでに既に43件ということで、学級閉鎖の始まりが随分早まっているという傾向がございます。

報告は以上です。

○教育長 今の報告で何かございますか。――よろしいですか。

そのほかに何かありますでしょうか。――よろしいでしょうか。

休憩いたします。

午前10時44分休憩

午前10時45分再開

○教育長 再開いたします。

別紙議事録参照のこと。

○教育長 以上で町田市教育委員会第9回定例会を閉会いたします。

午前11時22分閉会